

第3章「町の中と外から関心を持たれる教育のまちづくり」

○みんなでチャレンジする生涯学習のまちづくり

文化会館や図書館などは指定管理施設として、生涯学習の拠点となっておりますが、さらなるサービス向上に努め、適切に管理運営を支援してまいります。

また、他地域や海外の人材と積極的に交流できる機会を提供するため、友好交流を締結した神津島村での洋上セミナーのほか、海外との交流として、オーストラリアへの海外派遣事業およびホームステイでの受け入れ事業などを予定しておりますが、今後の感染症の状況を鑑みながら、検討してまいります。

○豊かな能力と強い心を育むまちづくり

各学校における施設や設備については、古里小学校

東側トイレ改修工事や氷川小学校特別教室エアコン設置工事など、児童・生徒が健やかに教育を受けることができるよう教育環境を整備いたします。

○伝統と先進の文化・芸術にあふれたまちづくり

町内の郷土芸能を次世代に確実に継承するために、引き続き、映像記録保存事業を実施してまいります。また、児童・生徒による継承事業として、笛の演奏体験授業や氷川獅子の実施など、郷土芸能における将来の担い手の育成を図ります。また、新たに東京都指定を受けた文化財もあり、指定文化財の整備などを計画的に実施し、適切に維持管理できるよう、支援してまいります。

第4章「みんなの力がつながる観光・産業づくり」

○住民が元気になる交流観光づくり

緑豊かな森林や奥多摩湖など豊富な水環境が豊かな町には、その自然環境を求めて年間212万人を超える観光客が訪れていると推計されております。コロナ禍においても、外国人観光客は減少しているものの、近郊からの観光客は増加しており、コロナ収束後の観光地として、しっかりとした受入れ態勢を整え、また、クリーンキーパーによる観光用公衆トイレの清掃も内外から評価をいただいております。引き続きクリーンなまちづくりに努めてまいります。

○奥多摩ならではの地域産業の推進

森林再生事業による森林環境の整備や内水面漁業環境活用施設整備事業を引き続き実施いたします。

また、近年、出没頻度が高くなっているツキノワグマへの対策事業など、農作物有害鳥獣対策事業を推進してまいります。

○観光・産業づくりを推進する力の強化

奥多摩観光協会やおくたま地域振興財団、JR東日本八王子支社などと連携しての各種イベントやPR事業の実施など、他団体の実施するイベントへの出展により、魅力あふれる奥多摩町の観光や特産物などの情報を提供し、観光客の誘致につなげてまいります。

第5章「住民と行政がともに考え、ともに築く、住みよい・住みたいまちづくり」

○官民協働による定住対策とまちづくり

過疎化による少子高齢化対策や地域コミュニティの維持へつなげるため、分譲地などの整備、町営若者住宅などの建設を実施し、町内への定住、移住が図られるよう定住対策事業を推進してまいります。令和3年度は、丹三郎（水神前）地内定住対策等用地買収、氷川（大氷川）地内若者住宅建設事業や子育て応援住宅建設事業などを予定しています。

これらの事業の実施にあたっては、地権者や空家所有者をはじめ、地域の皆様のご理解、ご協力が不可欠であります。今後も、皆様方のご理解、ご協力を得ながら定住施策を推進してまいります。

○成果を重視した行政改革の推進

今年度制定した第5次行政改革大綱に基づく『量から質への転換を目指した「しごと・ひと・しくみ」の改革』を推進し、町民皆様に満足いただける行財政運

営が図られるよう努めてまいります。

また、多様な行政需要への対応と各課の業務を最適化するため、限られた職員数の中、役場組織の見直しを行っているところでございます。

○身の丈にあった健全な財政運営の推進

自主財源である町税が年々減少を続け、国や都へ財源を依存している厳しい財政状況の中、各種事業の見直し・再構築を図りながら、事業の実施にあたっては、限りある財源を効果的、効率的に執行し、身の丈にあった健全で堅実な財政運営を推進するとともに、将来の財政需要を見通し、庁舎建設基金をはじめとした基金への積み立てを計画的に行ってまいります。

また、町税の収納率は、依然高い水準を維持しており、町税は減少傾向にあるものの貴重な自主財源ですので、今後も収納事務の対策を緩めることなく、自主財源の確保を図ってまいります。